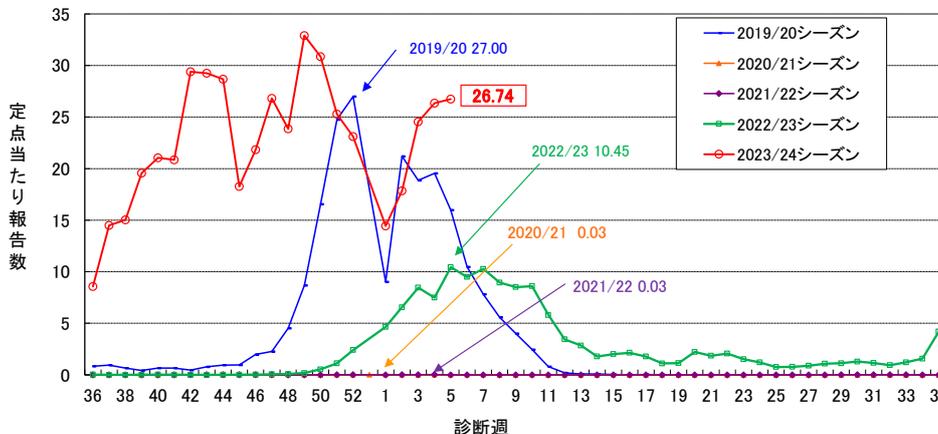


### 【今週の注目疾患】

#### 《インフルエンザ》

2024年第5週の県全体のインフルエンザの定点当たり報告数は、4週連続で増加し、26.74(人)となった(図1)。

図1:千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



年齢群別では、2024年第5週に報告のあった計5,454例のうち、10歳未満が2,425例(44.5%)と最も多く、次いで10代2,100例(38.5%)、30代275例(5.0%)であり、20歳未満で患者報告数全体の83.0%を占めた。2024年第2週以降、5～9歳及び10～14歳の患者報告数及び全年齢に占める割合が増加傾向にある。

2024年第5週に報告のあった計5,454例のうち、4,980例について定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告があった。4,980例中A型1,855例(37.2%)、B型2,846例(57.1%)、A and B型(A型とB型両方陽性)7例(0.1%)、A or B型(型非鑑別キットで陽性)272例(5.5%)であった。2023年第50週以降、B型の占める割合が増加傾向にあり、2024第5週は今シーズン(2023年第36週:2023年9月4日～)で初めてB型の占める割合がA型を上回った(図2)。

図2a:2023/24シーズン千葉県でのインフルエンザ型別迅速診断報告数

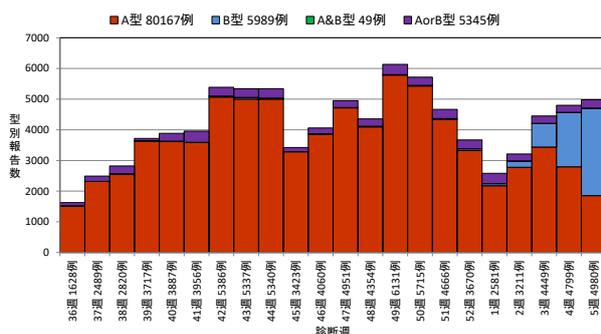
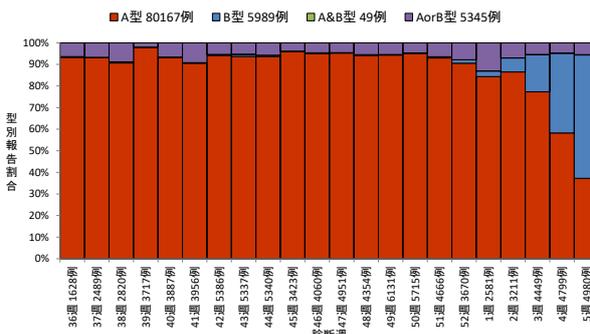


図2b:2023/24シーズン千葉県でのインフルエンザ型別迅速診断報告割合



インフルエンザ予防のため、こまめな手洗い、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、室内でのこまめな換気、適度な湿度の保持、予防接種などを心がけていただきたい<sup>1,2)</sup>。

#### ■参考・引用

- 1)千葉県健康福祉部疾病対策課：インフルエンザ警報の発令について（令和5年12月13日）  
<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2023/infulu-keihou2023-3.html>
- 2)千葉県健康福祉部疾病対策課：インフルエンザから身を守ろう  
<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/influenza-yobou.html>

《日本脳炎》

2024年第5週に県内医療機関から日本脳炎の届出が1例あった。年齢は80代で、発症時期は2023年10月、ワクチン接種歴はなかった。2014年以降、県内では、上記1例のほか、2015年に1例（8月発症）、2022年に1例（9月発症）の届出があった。

日本脳炎は、日本脳炎ウイルスにより発生する疾病で、蚊を媒介して感染する。感染した場合、およそ1,000人に1人が日本脳炎を発症し、発症すると20～40%は死亡する。また、生存者の45～70%に精神障害などの後遺症が残ってしまうといわれている<sup>1)</sup>。

日本脳炎の潜伏期間は6～16日とされる。本症の定型的な病型は髄膜脳炎型であるが、脊髄炎症状が顕著な脊髄炎型の症例もある。典型的な症例では、数日間の高い発熱（38～40℃あるいはそれ以上）、頭痛、悪心、嘔吐、眩暈などで発病する。小児では腹痛、下痢を伴うことも多い。これらに引き続き急激に、項部硬直、光線過敏、種々の段階の意識障害とともに、神経系障害を示唆する症状、すなわち筋強直、脳神経症状、不随意運動、振戦、麻痺、病的反射などが現れる。感覚障害は稀であり、麻痺は上肢で起こることが多い。脊髄障害や球麻痺症状も報告されている。痙攣は小児では多いが、成人では10%以下である<sup>2)</sup>。

日本脳炎ウイルスはアジアに広く分布しており、ヒトからヒトへの感染はなく、ブタなどの動物の体内でウイルスが増殖した後、そのブタを刺したコガタアカイエカ（水田などに発生する蚊の一種）などがヒトを刺すことによって感染する。一般に日本脳炎の感染リスクは農村部で高く、都市部で低いと考えられるが、コガタアカイエカは活動範囲が広いとため、都市部であっても日本脳炎に感染するリスクはゼロではない<sup>3)</sup>。

日本脳炎の特異的な治療法はなく、日本脳炎は症状が現れた時点で既にウイルスが脳内に達し脳細胞を破壊しているため治療が難しい。そのため、日本脳炎は予防が最も大切であり、予防の中心は蚊の対策と予防接種である。現在、日本脳炎定期予防接種は、第1期（初回2回、追加1回）については生後6か月から90か月に至るまでの間にある者、第2期（1回）については9歳以上13歳未満の者が接種の対象となっている<sup>2,3)</sup>。

■参考・引用

1)厚生労働省：日本脳炎

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekakaku-kansenshou20/japanese\\_encephalitis.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekakaku-kansenshou20/japanese_encephalitis.html)

2)国立感染症研究所：日本脳炎とは

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansenohanashi/449-je-intro.html>

3)厚生労働省：日本脳炎ワクチン接種に関するQ&A

[https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekakaku-kansenshou21/dl/nouen\\_qa.pdf](https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekakaku-kansenshou21/dl/nouen_qa.pdf)

【新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生状況】

2024年第5週の県全体の定点当たり報告数は、前週の20.88人から増加し、21.74人であった。

地域別では、海匝（41.25）、君津（36.38）、香取（31.50）保健所管内で患者発生報告数が多かった（図）。

図：直近5週間の県内 COVID-19 定点当たり報告数の推移（保健所別）

